

泉だより

vol 50

発行 / 医療法人 栄和会新聞部

2012.5.1

創立25周年目の入社式

新たな組織で前進の春



本年4月に創立25年を迎える医療法人栄和会では、桜が咲き揃った4月2日に新入社員の入社式を挙行、合わせて新組織のもとでの昇進者等への辞令交付も行い再スタートを切った。

まず、泉川理事長が「春爛漫の清々しい日、13名の方々が私どもの仲間として入社されました。地域の医療・福祉・在宅の担い手として、地域の皆さんが期待できる仕事をやっていただけるものと期待しています。」

昨年は東日本大震災が起りましたが、日本人の復興への強い魂が全世界の人々の共感と応援を得ることができました。しかし、まだまだ日本人の心の中に目に見えない恐怖感があるのか医療を含めて復興が進まない現状があります。

こういふ厳しい環境の中ですが、地域の医療・福祉・在宅の担い手として先輩の方々によく話をしながら、毎日をきちんと考え、向上心を持って進みましょう。今日の新たな気持ちを持ち続け、楽しく仕事をしながら地域の医療・福祉・在宅に貢献されることを希望し、立派な社会人になれることを期待しています。」と激励。

最後に新入社員を代表して看護師の島田美里さんが「栄和会に入社できたことを誇りに思います。これからは諸先輩の叱咤激励を仕事の糧として頑張る覚悟です。仕事は夢や憧れだけで通用するものではないと承知しています。栄和会の職員として、恥ずかしくない行動と意見を持った人間に成長したいと思しますので、厳しくとも温かいご指導をお願いいたします。」と決意を述べた。

なお、医療法人栄和会では病院部門、福祉部門、在宅部門を一本化した新たな組織に変更し、地域の皆様方に貢献できる体制を強化した。

地域における医療と 福祉の25年の軌跡

医療法人栄和会 理事長 泉川 欣一

泉川病院開院25年を迎えるに当たりご挨拶申し上げます。理事長兼院長である私も25年の歳月中、時には体調を崩しながらも地域の皆さん、職員の皆さんの暖かいご支援とご協力のもとに日常の医療活動、医師会活動、学会活動などに精一杯努力し今日を迎えています。今後も健康に注意しながら私の座右銘である「限りなき前進 Forward」をモットーに新たな活動を続け次世代に伝統ある栄和会の医療福祉活動を傳承したいものです。

思い起こせば、昭和22年1月故泉川榮一名誉院長が泉川医院として開院以来、地域住民と密着した医療で住民の健康維持の一端を担って42年間医療活動を続けてきましたが、地域住民の健康管理への意識の向上や、高齢化社会に伴う疾病構造の多様化、特に悪性腫瘍、脳血管障害、心疾患などの増加に伴い高度の医療技術と治療が要求されるようになり、また予防医学の必要性が望まれるようになりました。

これを機会に地域のニーズに対応できる泉川病院（病床数75床）を常勤医師3名、非常勤医師5名含む60名の職員で、内科を主診療科として、「悩める人を癒し、苦痛を和らげ、心を慰め、そして

病気の予防を」という理念のもと、1988年4月26日長崎県深江町に開院しました。

その後、1989年に病床数を120床とし、外科など他の診療科の増設による医療法人栄和会を設立すると共に、救急病院認定救急医療二次輪番制の指定病院となり、救急医療への対応を行いました。また、時代のニーズに応えるべく在宅医療の本格的な導入のため、訪問診療、訪問看護部門を設立しました。また、予防医学の柱である人間ドックをはじめとした検診部門の充実に努めました。

1993年には老人保健施設「フォンテ」の開設を皮切りにデイケア、在宅介護支援センター「いずみ」、訪問看護ステーション「あい」、訪問介護事業所「泉の里」、居宅介護支援事業所「ふかえ」など、高齢化社会への対策の一環としての取り組みをはじめ、2001年にグループホーム「サンテの丘」を開設しました。

医療面に於いては、医学の進歩と高度医療化へ対応の必要性が急がれたため病院の増築・改築を行い、地域医療の中核たる設備と医療技術を向上させるための対策を行いました。この後2003年に日本医療機能評価機構認定を受け、電子カルテ導入も早期に運用し、レセプトオンラインシス



テム導入、DPC導入、薬剤SPDシステム稼働などを経て2011年再度の病院改築にて透析室の拡張を行い現在に至っています。

診療面に於いては開設当初は呼吸器疾患が主体の内科診療でありましたが、外科、整形外科、皮膚科、放射線科、リハビリテーション科などの診療科の増設にて、より充実した機能で対応できるようになりました。特に近年循環器疾患における急性冠動脈疾患患者への島原半島唯一の救急治療施設として大きな役割を担っています。また呼吸不全患者への対応、透析患者の増加への対策、手術の出来る皮膚科施設、緊急対策が可能な外科、整形外科も地域にとっては重要な役割となっておりま

す。最近では看取りを家庭でとの強い要望が増え、各医師が訪問診療に常に対応しています。社会的にも地域における種々の講演会の講師、検診事業への協力、地域美化運動への参加、各種老人会主催の催しへの協力など積極的に取り組んでいます。平成23年3月には東北大震災への医療援助にも大変危険な状況の中職員2名（泉川卓也医師と小嶺裕子看護師）が積極的に参加しました。

最後になりましたが、泉川病院開院25周年記念を迎えるに当たり思いがけず、平成23年度日本医師会最高優功賞「マイコプラズマ肺炎の研究及び地域保健活動に貢献した功労者」の名誉ある受賞の報告を結びとして25年の軌跡を辿ってみました。

少にして学べば壮にして為す。
壮にして学べば老いて衰えず。
老いて学べば死して朽ちず。



高額な外来診療を受ける皆さまへ

平成24年4月1日から

「認定証」などを提示すれば、
窓口での支払いが一定の金額にとどめられます



これまでの高額療養費制度の仕組みでは、高額な外来診療を受けたとき、ひと月の窓口負担が自己負担限度額以上になった場合でも、いったんその額をお支払いいただいていたが、平成24年4月1日からは、限度額を超える分を窓口で支払う必要はなくなります。

高額な外来診療受診者	事前の手続き	病院・医院・薬局などで
70歳未満の方 70歳以上の非課税世帯等の方	加入する健康保険組合などに 「認定証(限度額適用認定証) の交付を申請してください	「認定証」を窓口で提示してください
70歳以上75歳未満で、非課税世帯等ではない方	必要ありません	「高齢受給者証」を窓口で提示してください
75歳以上で、非課税世帯等ではない方	必要ありません	「後期高齢者医療被保険者証」を窓口で提示してください

「認定証」を提示しない場合は、従来どおりの手続きになります。
(高額療養費の支給申請をしていただき、支払った窓口負担と限度額の差額が、後日、ご加入の健康保険組合などから支給されます)

申請に対する
詳細は、右記の
加入されている
保険者へ
お問い合わせ
下さい。

- 健康保険組合 ・ 国保組合 ・ 全国健康保険協会 ・ 共済組合 ・ 各市町村
- 島原半島3市
- 南島原市役所 050 3381 5039 市民生活部 保険年金課
- 島原市役所 0957 63 1111 保険・健康増進グループ保険班
- 0957 68 1111 有明支所
- 雲仙市役所 0957 38 3111 市民窓口課(国保年金班・長寿医療班)

地域医療連携室だより

地域医療連携室 室長

VOL.13

濱本 修

樹々の緑が目には快い季節となりましたがいかがお過ごしでしょうか。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。さて今回、医師の異動に伴い外来診療日程が変更となっておりますので御確認の程よろしくお願ひいたします。

また、新任の医師については泉だより内にてご紹介をしておりますのでご閲覧頂くと幸いです。

『がん医療の推進』についての取り組み

医局長 久松

平成23年より緩和ケアチームを立ち上げ、がん患者さまへの安心、安全で質の高い医療の提供に取り組んでいます。更なる医療の質の向上を目指し『がん地域連携指導料』の施設基準届出をいたしました。計画策定病院と連携医療機関（当院）は患者さま自身の理解や負担の軽減につなげていきたいと思っています。今後も緩和ケアチームとして定期的なカンファレンスや支援相談を行い、住み慣れた地域で生活できるようにサポートしていきたいと考えています。

当院は外来診療、外来化学療法、入院、訪問看護利用と最終的には自宅での看取りまで対応しております。

【医療法人 栄和会 泉川病院 緩和ケアへの取り組み】

『がん地域連携指導料診療報酬施設基準届出』：平成24年3月1日付届出

外来化学療法室：ベッド（5床）

入院病床数：120床（*がん専用病棟 無し）

緩和ケアチームの連携窓口：外来医師 久松貴・TEL0957 72 2017（代表）

紫外線療法をご存知ですか？

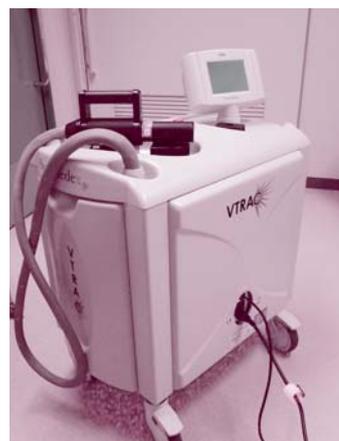
皮膚科 山本

治りにくい皮膚の病気として尋常性白斑という病気がございます。症状として皮膚の色がぬけて白く見えます。後天性（生まれつきでない）で全身どこにでもあらわれます。毛の生えている部分に症状が出ている場合、白毛になることが多くみられます。

当院ではこの病気の治療法の一つとして最新のエキシマ紫外線療法を行っております。

本療法は他に、乾癬や掌蹠膿疱症、アトピー性皮膚炎の治療の選択肢の一つにもなっております。（いずれも保険適用。）また、円形脱毛症にも有効です。（但し、保険適用外の為、自費での治療となります。）

このような症状でお悩みの方は当院皮膚科外来まで御相談ください。



各関係
機関様へ

いつも在宅支援サマリーの情報提供にご協力いただきありがとうございます。今後も退院支援調整に役立てていきたいと思っておりますのでよろしくお願ひいたします。

職場紹介

サンテの丘

サンテの丘は認知症対応型事業所で認知症の方が利用する施設です。

現在職員は17名勤務しています。施設は2ユニットあり、1ユニット9名の入居者であわせて18名の方が生活されています。自分でなんとか身の回りの事を出来る方もおられれば、一部介助を必要とされる方もいらっしゃり、共同で生活されています。

サンテの丘は、昼間は各棟3・4名ずつの職員、夜間は各棟1名ずつの職員で対応し入居者の方々に出来る事を手伝って頂きながら家庭的な雰囲気を中心生活しています。認知症であっても、最後までその人らしく過ごして頂けるよう一人一人の歩んでこられた人生を大切にしながら、サンテの丘のスローガンである「いつも笑顔で愛情と尊厳をもって」を実践しています。

各棟の紹介

A棟はケアの統一を図り「充実した入居生活を送れるよう支援する」を方針におき、個々のレベルに合わせてリハビリを行い、馒头やホットケーキ作りなどを季節感に合わせて行い一緒に取り組んでいます。



B棟は「入居者が笑顔で生き生きとした生活ができる様ケアの向上に努める」を方針におき、洗濯物をたたんだり、掃除の手伝いなど個人のレベルに合わせた生活を行い、また個人の習得した知識・技術を皆で共有し介護の質の向上に努めています。



いきいき健康教室のご案内

5 / 19(土) 楽しく運動療法 ~理学療法士より~
運動と栄養について

~管理栄養士より~

6 / 未定 高血圧について ~循環器先生より~
減塩の工夫 ~管理栄養士より~

7 / 21(土) シックデイについて ~看護師より~
体調不良時の食事の摂り方

~管理栄養士より~

8 / 18(土) 内服の飲み方について
食品交換表を開いてみよう

~薬剤師より~

~管理栄養士より~

詳細は毎月病院掲示板にてご案内しておりますのでご覧下さい。

5月の教室にはお食事があります。参加される方は内服薬を忘れずにお持ち下さい。

安全に関する取り組み報告会

島原復興サブアリーナ 2月23日(木)

- 1、確認に関するミスをも0(ゼロ)にする綾部恵美
- 2、病棟での取り組み龍田 彩
- 3、KY カードを通じて松尾博之
- 4、いかに調剤の払い出しで調剤事故を減らすか
.....池田賀亮
- 5、転倒転落事故予防への取り組み本田憲一
~ 病室での排泄行為に着目して~
- 6、安心・安全な生活を目指した退院支援 ...石橋香織
~ 多職種間協議の取り組み~



今回、2月23日(木)島原復興サブアリーナで「安全に関する取り組み報告会」を、上記6部署が発表を行いました。どこの部署もリスク(危険)を減らす為に必要な取り組みや誰でも意見を言える職場環境づくり、職員間のコミュニケーションの必要性について述べた中で、【サンテの丘】の松尾博之さんが理事長賞受賞に決まりました。内容としては日常生活でのさりげない工夫でありながら、安全・エコ・家庭的な雰囲気作りなど多角的に評価できる取り組みでありました。他の5部署も熱心な取り組み内容でした。今後も継続的な活動を続けていきましょう。

BLS (一次救命処置) 研修



2月・3月に看護師を対象としたBLS研修を3回に分けて行いました。

インストラクターに泉川卓也先生、スタッフに放射線課の方々に指導を仰ぎ、急な心肺停止に陥った患者様に遭遇した時、「冷静」「的確」「迅速」に行動できるようご指導していただきました。

今後は職員全員を対象として研修を行おうと思います。

泉川卓也先生・放射線課の方々、ご指導ありがとうございました。



新任 医師 紹介



小森 宗治医師

4月より赴任してきました、小森宗治と申します。色んな所へ勤務していましたが、島原半島は初めてになります。地域医療に貢献出来るよう頑張っていけますので、栄和会スタッフの皆様共々、今後ともよろしく申し上げます。



三原 智医師

長崎大学出身で呼吸器を担当します三原智と申します。島原半島に赴任し地域医療に貢献できるよう頑張ります。宜しくお願い致します。

新人 紹介



島田 美里
看護師



井川 知洋
看護師



吉永 博文
理学療法士



栗野 翔
言語聴覚士



佐藤栄利子
医事



伯川奈々美
メディカル・クラーク



今山 智子
メディカル・クラーク



高原 里奈
メディカル・クラーク



森川 夕紀
栄養士



本多 妙子
洗濯室



佐藤 久子
売店

乳がん検診を受けませんか

乳がん検診の受けやすい環境作りとして、乳がん検診（個人検診）のクーポン券の販売と、土曜・日曜乳がん検診を行います。ぜひ、あなたとあなたの大切な人のために乳がん検診を受診していただきたいと思います。

乳がん検診（個人検診）クーポン券：料金3,500円（通常4,200円）

使用可能期間：ピンクリボン月間（10月中）または受診者様の誕生日

検査内容：マンモグラフィ + 乳腺エコー（女性技師対応）

このクーポン券は泉川病院のみで使用可能です。

土曜・日曜乳がん検診

土曜日の乳がん検診を午前中のみ行います。

日曜乳がん検診実施日：H24年7月8日、10月21日、11月18日、H25年2月24日

利用可能な検診種類：市のがん検診（南島原市・雲仙市）・無料クーポン・個人検診

検査項目：マンモグラフィ・乳腺エコー・視触診（マンモグラフィと乳腺エコーは女性技師が対応）

事前予約が必要です。ご不明な点はお問合せください。 TEL0957 72 2017（担当：検診室）